

## 平成20年度 神戸市立神港高等学校マネジメントプラン

### 1. 目指す学校像

#### 「地域に愛され、共に学び、夢を育む神港」

次代の神戸を担う人間育成として、豊かな心と逞しい身体を育み、  
コミュニケーション能力や知識・技能を培う学校

- \* キャリア教育を踏まえた進路実現の支援と学力向上を図る学校
- \* 思いやりの心や規範意識を持ち、明るく活発な生徒を育み、奉仕や社会貢献の心を培う学校
- \* 地域に根ざした学校として広報活動、情報発信、連携事業等を積極的に行う学校

### 2. 中期経営目標と目標達成の方策

「目指す学校像」の実現をより確かなものとするため、中期経営目標と目標達成の方策を策定する。

中期経営目標	目標達成の方策
A. 学力向上を目指し、各教科で授業の持ち方や授業改善に取り組む。同時に生徒のニーズに応える進路指導の確立を図る。	(1)「教育課程の検討」・「授業研究」・「教育環境改善」を3つの柱とし実践する。 (2)普通科は、大学入試に対応できる学力向上。商業科・情報処理科は、専門性の高い知識・技術を習得。3科とも授業以外の補習・勉強合宿を行い、学力向上や高次の技能習得を目指す。また、就職に関しては、企業開拓を積極的に行うと同時に、早期内定を目指す。
B. 社会規範やビジネスマナーを習得し神港生としての誇りを持つ生徒の育成。部活動の全国大会出場。	(1)社会規範や校則の遵守。 (2)あいさつ、ビジネスマナーの徹底。 (3)部活動の活性化。全国大会への出場。 (4)ボランティア活動への参加。
C. 地域や保護者に理解と協力を得るために情報発信、他校種との連携など、「開かれた学校づくり」を目指す。	(1)学校PRの充実。 (2)学校自己評価、保護者アンケート、授業アンケート、外部評価等の活用と公表。 (3)小学校、中学校との連携事業の充実。

### 3 . 平成 2 0 年度 重点目標と具体的方策

重点目標	具体的方策（取組内容）	評価指標
<p>A（1） 授業公開や研究会を実施し、授業研修の充実と教育環境の改善及び危機管理の徹底を図る。</p>	<p>授業公開週間の充実と研究会の実施をさらに充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月の授業公開週間で原則全教員の公開授業と研究会の実施と科毎の記録作成。</li> </ul>
	<p>授業改善のためシラバス、評価基準を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度は地歴・公民科で、考査問題の検討会の実施とシラバスを作成。</li> </ul>
	<p>学力向上と生徒・保護者が満足する授業改善、教育環境作りの徹底。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業のあり様について生徒・保護者によるアンケートの実施と分析。全ての項目について「できている」が 70%以上を目指す。</li> </ul>
	<p>危機管理の対応としての避難訓練・救急救命の研修会実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練の実施。</li> <li>・ 全教職員が研修に参加。</li> </ul>
<p>A（2） 生徒の実態と進路目標に合わせた「教育課程」の策定と各科に合わせた計画的資格取得と補習の実施。</p>	<p>普通科では、BROAD コースの 2 年生からの選択科目の充実。 普通科は模試において偏差値 50 の得点が取れるように各教科で分析と補充の計画。 模試受験者に対して、事前・事後指導を毎回行う。また、授業との関連を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科目選択のモデルプランを提示し、各科目のシラバスを刷新する。</li> <li>・ 本年度は 2・3 年理数系生徒の模試で偏差値 45 の得点できる生徒を育成。</li> <li>・ 模試受験者を普通科大学進学希望者の 70%以上にする。</li> </ul>
	<p>商業科では、新たな教育課程（平成 20 年度入学生より実施）の科目選択を編成する。 商業科においては夏季・春季休業中に簿記セミナーを計画的に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科目選択のモデルプランの提示。コース選択科目シラバスの刷新。</li> <li>・ 全商簿記 1 級合格者を 50%以上、日商簿記 2 級合格者 30%以上を目指し、進学につなげる。</li> </ul>
	<p>情報処理科では、情報系大学進学に応じた選択科目の配置を編成する。  情報処理科においては国家試験情報処理技術者試験合格にむけて春季集中セミナーを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報システムコース・情報ビジネスコースの選択科目の配置を策定。受験可能な関係大学との連携を実施する。</li> <li>・ 本年度は初級システムアドミニストレータ試験受験者及び基本情報処理技術者試験受験者受験者の 50%取得を目指す。更にソフトウェア開発技術者試験資格について複数名の合格者を出し、資格を生かした推薦入試による進学率のアップ。</li> </ul>
	<p>就職指導の取り組みの強化。学年に応じた職業ガイダンスの実施や企業開拓と共に本校生の能力、学力などを P R する。 インターンシップなどの体験活動を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100 社の会社訪問と就職希望者の年内内定。</li> <li>・ 7月に実施するインターンシップ参加生徒を倍増する。</li> </ul>

<p>B (1)(2) 社会規範や校則を遵守できる生徒の育成。社会人としてのあいさつやビジネスマナーの徹底。</p>	<p>朝礼やHRなど折に触れ、社会規範や校則の重要性や社会人としての人間関係を円滑にするあいさつやビジネスマナーなど生徒会や教員から率先して、全校生に浸透させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由のない遅刻、頭髪・服装指導を前年度の半数にする。</li> <li>・校内でのあいさつや職員室の出入りなど自然にできる生徒を育成する。</li> </ul>
<p>B (3) 部活動の活性化を図り、近畿・全国大会出場する。</p>	<p>クラス減に伴い、生徒数が少なくなっているが、部活動の入部率を高める。各部各種大会で近畿・全国大会の出場を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生の入部率を高めるために、生徒会や教員共に働きかけ 80%以上にする。</li> <li>・3種目以上の近畿・全国大会に出場する。</li> </ul>
<p>B (4) ボランティア活動へ積極的に参加できる生徒の育成。</p>	<p>ワークキャンプや施設への慰問などへの参加を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や個人を問わず、進んで参加できる生徒を多くする。</li> </ul>
<p>C (1) 中学校への情報発信のための広報活動の充実。</p>	<p>中学校への学校新聞、パンフレット等の配布活動を行い広報の充実を図る。また、中学校訪問を実施し、在校生の近況報告や入試情報等の提供および進学説明会、出前授業の案内を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校新聞は、在校生の活動成果等を中学校や関係機関に年間5回程度配布する。</li> <li>・本年度の受検倍率を上回ることを目標に3科の特色や魅力をPRする。</li> </ul>
<p>C (2) 「開かれた学校づくり」のための情報公開を積極的に行う。</p>	<p>ホームページ上で保護者アンケート、授業アンケート、外部評価等を活用し、その情報を公開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に授業アンケートの分析結果を元に次年度の重点目標を見出す。</li> <li>・ホームページの更新を年間10回程度行う。</li> </ul>
<p>C (3) 小学校、中学校等他校種および地域との連携を充実させる。</p>	<p>課題研究、総合学習等の授業を通して他校種、地域との連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の連携校を4校に増やし、地域の連携団体数を拡大する。</li> </ul>